

厚生労働省  
令和5年度

子育て世代の医療職支援事業  
実施報告書

Medical Professions'  
Universal Support and  
Career Development with  
Active Teamwork



広島大学病院  
女性医師支援センター

厚生労働省  
令和5年度

子育て世代の医療職支援事業  
実施報告書

## 目次 CONTENTS

はじめに

### 令和5年度 活動報告

---

<b>1</b> 広島大学病院の現状について	06
<b>2</b> 実施計画	08
<b>3</b> 活動実績	12
1. 職場の理解にかかるとの取り組み	13
1-(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築	13
1-(2) センター運営会議	17
1-(3) 広島県女性医師支援総合会議	20
2. 相談窓口等にかかるとの取り組み	25
3. 勤務体制、診療体制にかかるとの取り組み	27
4. 保育にかかるとの取り組み	28
5. 復職支援にかかるとの取り組み	33
6. 効果的支援策の普及活動の実績	34
I. キャリア継続・復職・保育に関する支援	34
II. 活躍支援	35
III. 支援情報の周知、支援ニーズの把握	35
<b>4</b> 本事業からの今後の支援策	36
<b>5</b> 外部評価	37

---

## はじめに

広島大学病院が平成 29 年 4 月に女性医師支援センターを設置した背景には、医療現場における女性医師の存在がますます重要性を増しているという事実があります。近年の医師国家試験合格者のうち、女性の割合が 30% を超えるというデータは、女性が医師としてのキャリアを選ぶ傾向が高まっていることを示しています。

女性の場合、結婚、妊娠、出産、育児、介護などのライフイベントによって、勤務環境が大きく変化することがあります。これらの変化に対応するためには、適切なサポートが不可欠です。女性医師が無理なく医師としてのキャリアを継続するためには、職場が彼女たちの多様なニーズに対応できるように配慮する必要があります。

広島大学病院が女性医師支援センターを設置することで、女性医師が安心して働ける環境を提供しようと心がけてまいりました。この取り組みは、広島県における医師不足という深刻な課題に対処するためにも極めて重要と思っています。広島県唯一の育児機関として、女性医師にとって切れ目なく働き続けることが可能な環境を整備することは、地域医療の安定と発展に直結するものと言えます。

また、広島大学病院女性医師支援センターは、厚生労働省の支援事業に毎年申請・採択されています。令和 5 年度には、「子育て世代の医療職支援事業」に採択され、これまでの活動を継続しつつ、さらなる試みを行っています。

特に、医師として苦労を重ねてキャリアを続けてきた女性医師や、女性医師の割合が高い診療科の医局長、事務職員からの協力を得ながら、活動を展開しています。さらに、外部評価委員からは、活動の適格な審査や今後のセンター活動に対する貴重な意見をいただくことで、活動の質の向上に努めています。

本報告書では、今後の改善点を課題として取り組むために、今年度の活動を振り返っております。今後も持続可能な支援事業の構築とその発展を目指し、女性医師がキャリアを継続し、職務を最大限に果たせるように努めたいと思っています。

引き続きご協力とご支援をいただけるよう、よろしくお願い申し上げます。

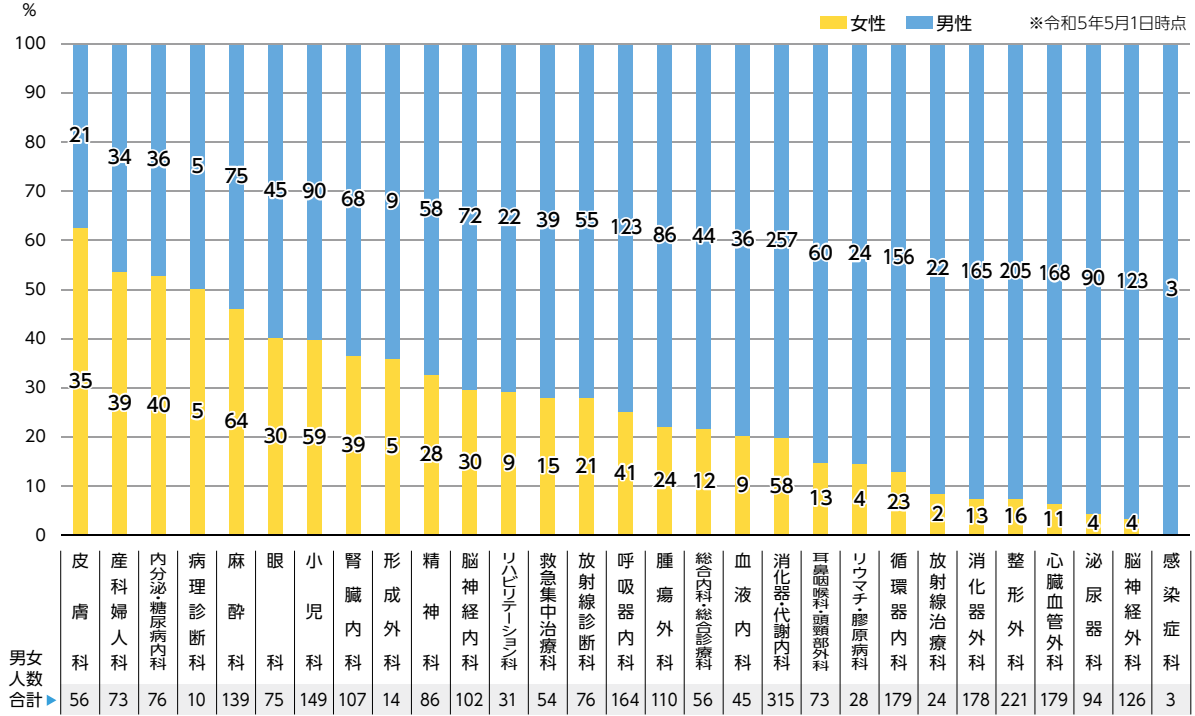
令和 6 年 3 月

広島大学病院 女性医師支援センター  
センター長 堤 保 夫  
(広島大学大学院医系科学研究科 教授)

# 令和5年度 活動報告

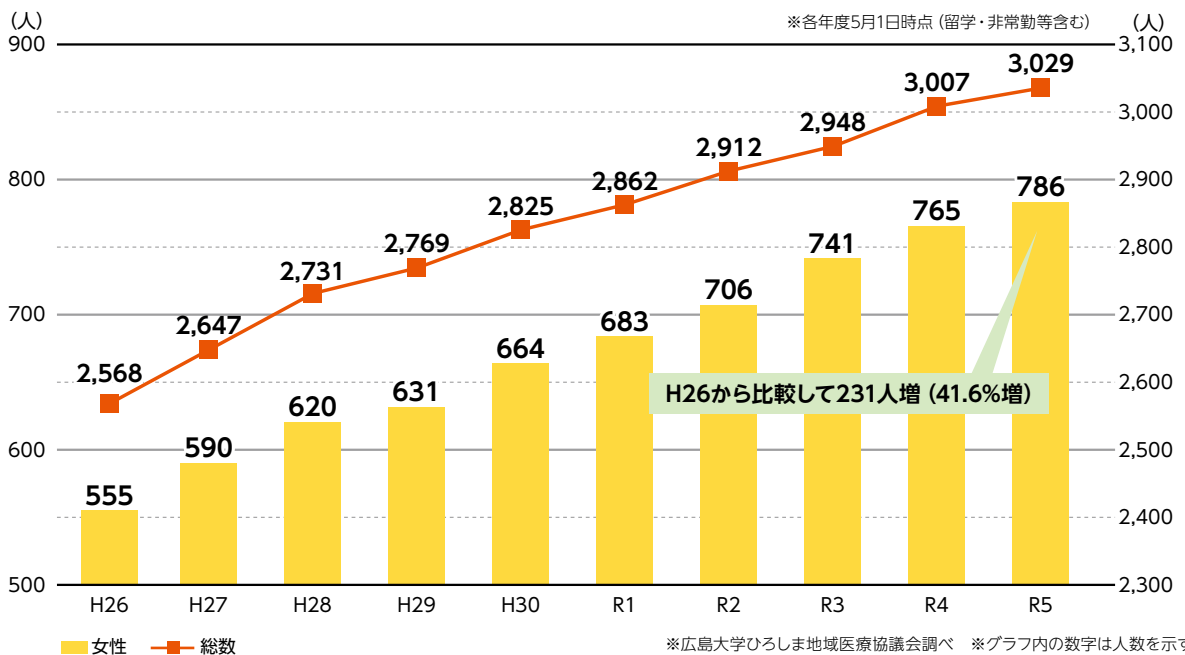
## 1 広島大学病院の現状について

広島大学病院の診療科別男女割合（関連病院含む）



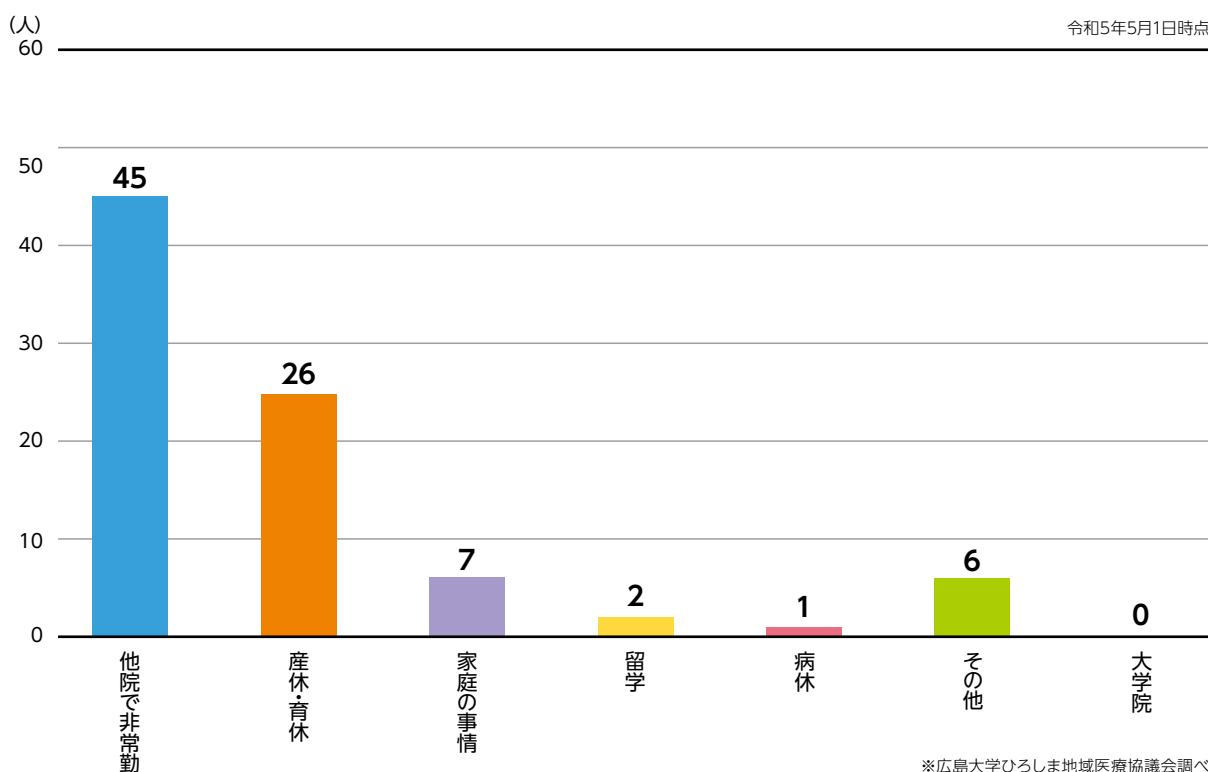
※広島大学ひろしま地域医療協議会調べ

広島大学病院の年度別女性医師数推移（関連病院含む）



※広島大学ひろしま地域医療協議会調べ ※グラフ内の数字は人数を示す

## 広島大学病院（関連病院含む）の女性医師のうち休職中の者の状況



### 広島大学病院女性医師支援センター設立の背景

広島大学では平成 28 年度まで、男女共同参画推進室が女性研究者を対象とした各種支援を実施してきた。近年、女性医師の割合が増加しているが、女性医師の中には、出産・育児等によりキャリアを中断せざるを得ない場合があり、大学病院各診療科では女性医師へのキャリア継続のための支援が重要な課題となっている。また、女性医師のキャリア継続には、ワーク・ライフ・バランスの再考と、家族のみならず同僚や職場全体の支援が重要となる。

このような状況を踏まえ、働きやすい効率のよい職場環境の整備を支援し、働き続けられる職場、離職しても復帰しやすい職場を構築し、女性医師にとって働き甲斐のある病院にしていくことを目的に、広島県内唯一の医育機関である広島大学に、「広島大学病院女性医師支援センター」（以下「センター」という。）を設置した。平成 29 年 4 月 1 日から広島大学病院、大学院医歯薬保健学研究科（現：大学院医系科学研究科）に属する女性医師、医学部医学科に属する女子医学生のキャリア支援を開始した。

なお、女性医師の臨床現場定着を目指した活動や臨床現場復職を目指した活動は、広島県、広島県医師会、広島県地域医療支援センターなど広島県下の様々な団体・医療機関との連携・協力により推進し、次世代育成を目指した活動は、広島大学財務・総務室「男女共同参画推進室」と連携して推進することとした。

また、センターの運営支援は、医療政策室において行うこととした。

## 2 令和5年度 女性医療職等のキャリア支援事業実施計画

支援策の大きな柱は以下の通りである。

- I. キャリア継続・復職・保育に関する支援
- II. 活躍支援
- III. 支援情報の周知、支援ニーズの把握

### I. キャリア継続・復職・保育に関する支援

#### (1) 相談窓口、新たな支援要望情報の収集

- ①「広島三本の矢 女性医師支援チーム（広島大学病院女性医師支援センター、広島県医師会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センター）」による相談窓口

この3団体のどこに相談があっても情報を共有し、随時最適な支援策を策定して実行する。医学科学生から大学および県内の病院の初期臨床研修医、専攻医まで一貫した女性医師のキャリア相談とその支援を行う。女性医師のキャリア形成について、敷居の低いよろずやの相談窓口を目標とする。相談員は女性医師特有の事情を理解する必要があるため、各科の女性医師支援センター委員が応じる。事務的な手続きについては医療政策室が行う。

- ② 女性医師支援センター ホームページ内での相談受付・回答、目安箱への書き込み

センターホームページを通して相談を受け付け、女性医師支援センター委員が回答を書き込み公開することにより、様々な質問に対する回答を周知する（公開を希望しない場合は公開しない）。たとえば産休、育休、復職支援について等。また、目安箱によって子育て世代等が必要としている支援内容を収集する（公開はしない）。

#### (2) 勤務体制・診療体制の改善につながる取組

- ① 女性医師採用支援枠

出産・育児の後、職場復帰をめざす女性医師を対象として、女性医師個々の環境に応じたオーダーメイドのキャリア支援制度として、定員外の増員分の「女性医師採用支援枠」を設けている。現在の大学病院の医師定員数に含まれない、かつ勤務時間を自由に設定できる枠であり、常勤復帰までのサポートを行う。時間に制限のある女性医師の職務の補助をするための医師事務作業補助者も雇用する。

- ② 復職支援プログラムの拡充

復職支援を行う中で、その支援は各診療科による違いだけでなく各個人のキャリアの状況によっても大きく希望する内容が異なることが明らかになってきた。そこで最近ではケース毎に復職支援のためのプログラムを提案し、実践している。本センターは大学病院各診療科や教育関連病院に支援内容を依頼すると同時に、プログラムを実践するにあたって有効利用ができる広島大学病院の研修・学習体制があればそれを提供する。

#### ● 復職支援学習システム

各診療科が提供するプログラムを実践するために、e-ラーニングシステムの構築と利用を推進する。大学内外いづれにおいても研修が行えるシステムを構築し、各診療科で提供するプログラム支援を行う。また、種々のカンファレンスには自由に参加出来るように調整を行う。広島大学医学部では医学教育の一環として、バーチャルリアリティ（virtual reality:VR）技術を用いた実習を導入した。今後、この技術を駆使し、産休・育休後などの復職に当たって

必要な手技の確認・トレーニングをできるよう、コンテンツを作成する。

●復職支援研修コース

長期の離職からの復帰希望者に対しても、女性医師支援センターがこれまでのキャリアや離職期間などの聞き取りを個別に行い、各診療科でプログラムを立案していただきオーダーメイドの復職研修コースを提供する。広島大学病院のみならず、診療科の教育関連病院においても、復職研修プログラムを立案し、研修受け入れを調整する。

③医師のワークモチベーションの探索

久米米大学、広島大学、岡山大学、佐賀大学、九州大学の共同で「医師のワークモチベーションを維持する動機づけ因子の研究」を行っている。アンケートは年齢別に解析が可能なため、このアンケートを通して女性医師等支援における時期的・質的方策を練る。また、今回は男性医師もアンケートの対象に含めることから、本アンケートからも女性医師等支援において留意すべき点、改善の必要な点についての方策を検討できる可能性が高い。

(3) キャリアに対する理解・意識変革につながる取組

①女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成に関する講演会・お茶会の開催

女性医師等が、病院勤務だけでなく開業や健診業務、介護施設勤務、企業の産業医、行政等、幅広いキャリアの可能性を知ってもらうため、広島県医師会に設置されている女性医師部会との連携により講演会を開催し、女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成・継続に関する現状、情報の共有を行う。女性医師・女子医学生だけでなく、男性医師・男子医学生にも積極的に参加していただき職場全体での理解を図る。質問や相談をしやすいお茶会を開催する。医学科学生を含め、女性のみならず男性医師も対象とし、男性医師の女性医師支援に資する啓発を行う。

②「イクボス」に関する講演会、医師の親世代に対する介護の現状を伝えるセミナー等の開催

「イクボス」を増やすため、特に各診療科教授にもご参加いただく講演会を企画する。形態としては、FDの形での開催とし、より多くの指導的立場の医師に情報を提供し、子育て世代への支援に理解を促す。医師の親世代に対する介護の現状を伝えるセミナーは、子育ての終わった世代の現実的な問題として取り上げるが、子育て世代には将来自分が向き合うかもしれない問題として情報を提供する。

(4) 保育環境改善につながる取組

① Web 会議ツールを駆使したキャリア支援

新型コロナウイルス感染症の拡大で一般市民の移動が制限されることにより、オンラインオケージョンが増加し、リモートを前提とした活動やデジタル化が進行した。この方向性は育児、介護を行っている医師にとって好都合な部分も多い。これまで対面で行っていたキャリア相談や参集していたセミナー・講演会等に関し、オンライン／リモートで職場・自宅にて参加できるようシステムを構築し利用している。今後も、子育て・介護に支障のない場所・時間での相談、会議・講演会への出席、②に提案する企画への参加が可能になるように、積極的に Web 会議ツールを用いる。

②各診療科女性医師懇談会・初期研修医を対象とした各診療科のリアルワールド紹介・子連れで参加できるスキル上達セミナー等の開催

これまで当センターの主催する女性医師懇談会は行われていたが、各診療科に特化した議題を話し合う機会も必要と考え、各診療科での女性医師懇談会の開催を推進する。また各診療科の女性医師等の働き方の実際を含め、

初期研修医の不安等を解決すべく各診療科のリアルワールドを紹介する機会を設ける。さらに、最新治療法の紹介やエコーのハンズオンや腹腔鏡・内視鏡等のスキル上達を目指した子連れ参加可能なセミナーを開催する。スキルの上達だけでなくキャリアと家庭（家事、育児、介護等）の両立について気軽に議論のできる環境を作ることも目的とする。Web 会議ツールを利用したセミナーやリモート指導を行う。

### ③ 夕方以降の勉強会・研修会等開催時の託児経費補助

日中は診療に従事するため多くの診療科の勉強会等は夕方以降の開催となる。基本的にはオンライン/リモートでの参加も可能の方向で推奨するが、対面での参加で得られることも多い。そのような場合、育児中の女性医師等が参加しやすい環境整備のため、夕方以降に診療科等で実施する勉強会・研修会において託児を設置するための経費の補助を当センターで行う。夕方だけでなく、休日に開催するセミナー等の託児の経費も支援する。また持ち運びできるベビーベッドを本センターに備え、子どもを預けられないときに医局で短時間の打合せが必要な場合など、希望に応じて活用できるよう貸出を行う。

一方で、各診療科のカンファレンスなどは夕方以降ではなく勤務時間内に行えるよう意識改革を支援する。

### ④ 広島県医師会の子育て支援事業のサポート

広島県医師会の子育て支援事業として「保育サポーターバンク」が開設されたため、支援を必要とする女性医師等は保育サポーターの紹介を受けての利用が可能となった。運用の状況について、大学病院内での周知や広島県女性医師支援総合会議において広島県内の病院長あるいは人事関連担当者にも周知したため、令和4年度は、サポーター59名登録、利用者9名、マッチング件数25件、令和5年度(2月末まで)は、サポーター57名登録、利用者5名、マッチング件数30件、と増加している。今後 Web や会議の際の紹介を通して利用の拡大を促す。

### ⑤ 保育情報の取りまとめと共有

広島県下の主要病院および協力病院から院内保育についての情報を収集し、当センターのホームページに掲載することにより広島県で就業するすべての医師と情報共有できるようにし、毎年アップデートを行っている。また、広島県保育連盟連合会、広島市保育連盟と連携し、保育所利用状況をはじめとした最新情報を収集し、周知を図る。

### ⑥ 病児・病後児保育の拡充

広島大学病院の敷地内には、たんぼぼ保育園及びこすもす保育室の計2か所の保育施設があり職員の育児と仕事の両立を支援している。たんぼぼ保育園では一部、病児・病後児保育が可能である。不十分な場合には学外の病児・病後児保育施設を利用した者に対しては、その利用料を補助する事業が運用中であるが、今後学内での病児保育が十分に利用できるよう、病児・病後児保育施設の拡充について検討を行う。

### ⑦ 小学校の長期休暇期間中および緊急事態に呼応した子どもクラブの開設

小学校の長期休暇期間中には、大学病院敷地内で夏季子どもクラブ、冬季子どもクラブ、春季子どもクラブとして学童保育をおこなっている。

一昨年度末および昨年度は、新型コロナウイルス感染防止のため小学校が臨時休校となったことを受けて急遽学童保育を実施した。大学病院勤務の利用者においては、医療従事者として勤務を継続することを求められる立場であることを鑑み、一昨年度は女性医師等支援事業として採択された厚生労働省の事業費を活用して女性医師、男性医師を問わず利用料の補助を行った。また、民間の学童保育を利用した者の利用料も一部支援した。新型コロナウイルス感染に関するだけでなく、今後いかなる緊急事態においても同様の利用料補助が行えるよう整備する。

## Ⅱ. 活躍支援

キャリアを継続できている医師に対して活躍支援を行う。以下の支援は、活躍支援と同時にキャリア継続支援においても効果を発揮すると考える。

### (1) Temporary Mentoring 制度

- ①目的：子育て世代等の活躍を支援するため、業績作りをサポートする。研究、助成金獲得、子育てとの両立等に関し、希望者は個別のメンターを選択し、一時的に助言、サポートを受け、より質の高い業績をあげていただく。長期間のサポートは、双方の精神的負担になる場合が想定されるため、必要な時に必要なだけサポートを行う。
- ②メンター：男性医師、女性医師、当初は女性医師支援センター委員で始める。各委員の紹介をホームページ上にアップし、支援希望者からの指名を受ける。

### (2) HUH (Hiroshima University Hospital) 活躍支援助成 (広島大学病院の予算にて実施)

- ①目的：キャリアを継続している子育て世代医師が、さらに活躍できるよう、活躍支援を行う。
- ②対象：子育てをしながら広島大学病院で勤務をする医師（男性、女性を問わない）
- ③助成内容：学会、勉強会参加に伴う保育に関わる費用
- ④助成金額：10万円まで
- ⑤報告事項：助成使途内容、それによる業績等を年1回行われる発表会（ポスター発表）にて発表する

## Ⅲ. 支援情報の周知、支援ニーズの把握

### (1) 広島県女性医師支援総合会議

広島三本の矢チームの構成組織である大学病院診療科長、各診療科人事担当者、広島県内の病院長あるいは人事関連担当者、広島県、広島市医師会女性医師部会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センターに加え、医師を求める診療所などすべての関係者が参加する会議であるため、本会議において支援情報の周知、情報共有、要望の収集等を行う。本会議において、女性医師キャリア支援に関し総合的に議論する。

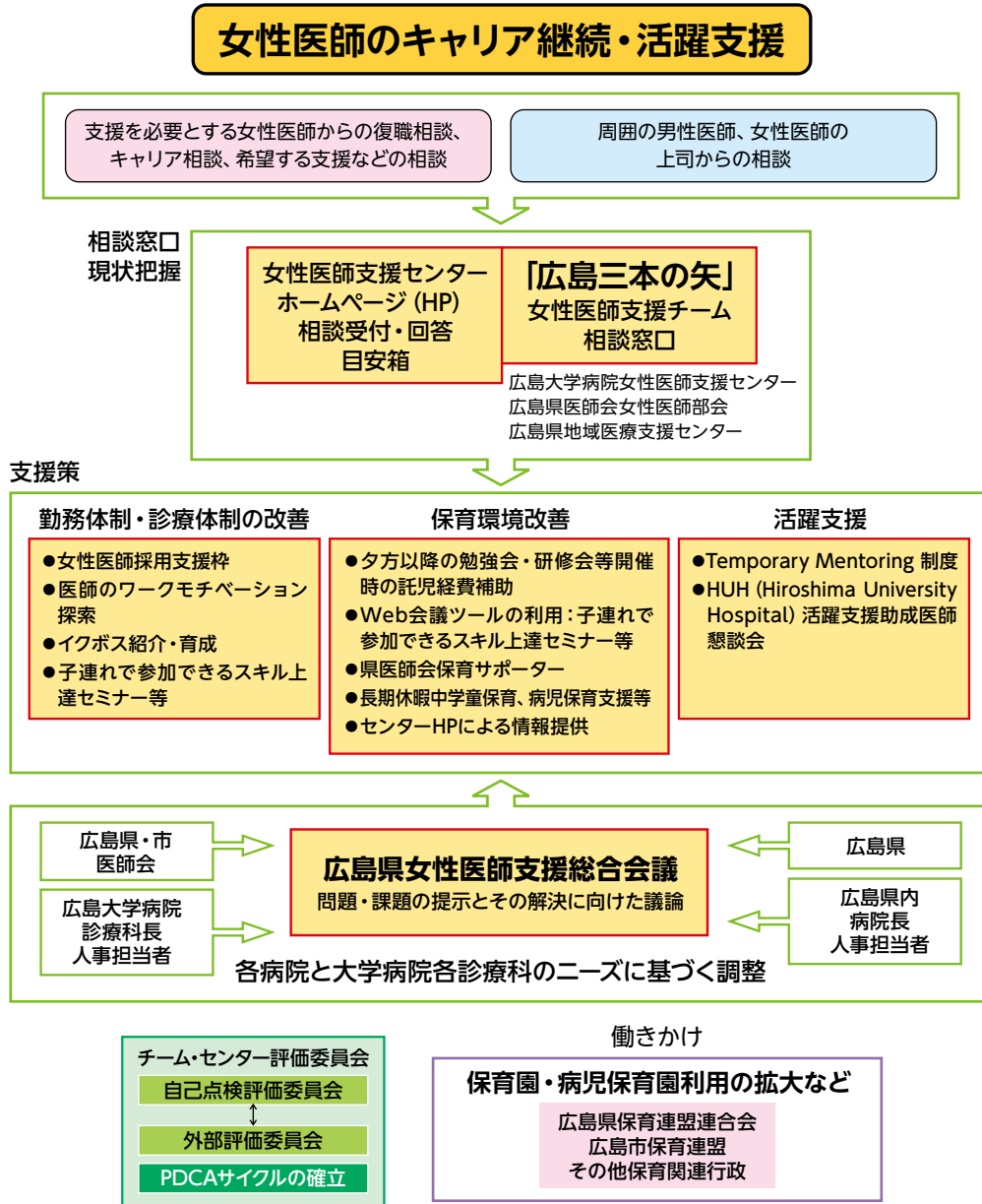
### (2) 女性医師支援センター ホームページの利用

上記の事業の内容、公募、結果、相談回答等はすべてホームページで紹介するとともに、各診療科に女性医師支援担当委員をおき、診療科内での情報の公開をお願いする。

### 3 活動実績

本年度の活動状況及び成果を以下に示す。

#### 広島大学病院女性医師支援センター 支援策オーバービュー



## 1. 職場の理解にかかる取り組み

### 1-(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築

広島県医師会と連携し、女性医師・女子医学生をサポートするための講演会等を開催することにより、問題提起・解決策の模索を行った。

#### 【医学生、研修医等をサポートするための会】

テーマ：初期臨床研修、専門研修、大学医局についての最近の話題

日時：令和5年11月6日(月) 18:30～

場所：広島大学広仁会館大会議室 および Web (Zoom) のハイブリッド開催

特別講演：初期臨床研修、専門研修、大学医局についての最近の話題

講師：広島大学病院 総合内科・総合診療科 教授 伊藤 公訓

講演：研修医・専攻医の体験談

座長：広島県医師会女性医師部会長 石田 万里

講師：呉医療センター・中国がんセンター 研修医 光野 萌

広島大学病院 整形外科 山里 彩華

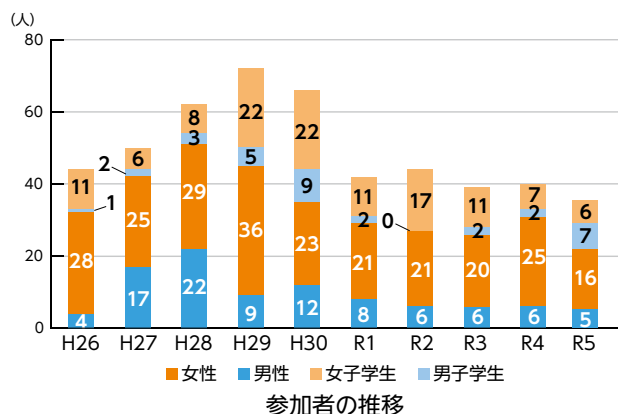
広島市立広島市民病院 放射線診断科 川井 咲

ディスカッション



総参加人数は34人(医学生13人、医師15人、研修医1人、その他5人)であった。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いていたため、現地をメインとしオンラインを併用したハイブリッドで開催した。オンラインを導入したことで、地域の医師だけでなく、遠隔地の学生・研修医・医師など、より多くの方に聴講いただけた。内容は、「初期臨床研修、専門研修、大学医局についての最近の話題」と題して二部構成でおこなった。第一部は、新研修医制度に詳しい広島大学病院 総合内科・総合診療科教授の伊藤公訓先生から、初期臨床研修、専門研修の現状と大学医局の意義についてご講演いただいた。第二部は、研修医・専攻医の体験談として、現在研修医、専攻医の医師と、すでに専門医を取得した医師に研修病院の選択理由や専攻の決め方、専門医をとるタイミングなど、ご自身の経験を元にお話しいただいた。



## ～参加者アンケートより～

### ■参加された感想は

#### 医学生からの意見

- ▶現場の女性医師の方のお話しや研修医の仕組みについて詳しく知れてとても有意義だった。
- ▶登壇された先生方が各々の状況に合わせてお話しされ、人それぞれ違うということも伝わり良かった。
- ▶まだまだ分からないことは多いが、想像ができた。
- ▶研修中や専門科選びなど具体的な話を聞いて良かった。
- ▶将来の理想像をよりはっきりさせることができた。

### ■参加されて女性医師支援、ワークライフバランス、男女共同参画に対する意識は変化しましたか

#### 医学生からの意見

- ▶女性でも医師の仕事、勉強と育児を両立されている具体的なお話が聞いたこと。
- ▶女性だと行きやすい科に限られるのかなと考えていたのですが、どの科に行っても勤続年数は変わらないというお話しや、実際に男性が多いと思っていた整形外科の女性医師のお話が聞いて、女性でも進路が狭まることはないのだなと嬉しく思います。
- ▶男性医師の関わり方に関し話があったのが良かった。
- ▶様々な事項を考えながら働き方について決定していけないと分かり、意識が上がったと感じる。

### ■今後もこのような活動は必要だと思いますか

#### 医学生からの意見

- ▶家族や親族に医療従事者がいないとこういったお話を聞ける機会が限られるため、ぜひまた開催していただきたいです。
- ▶男子学生としても、このような機会があって良かった。女性に限らない方向性が個人的に有り難かった。
- ▶学生でこのようなお話をきける機会は少ないと思うため、このような活動は必要。
- ▶より環境を改善するために多くの学生が聞くべきだと感じた。

### ■ご要望・ご意見

#### 医学生・研修医からの意見

- ▶とても貴重な機会を頂き本当にありがとうございました。参加でき、とても良かったです！
- ▶個別質問時間があるとより良いと思いました。
- ▶初期研修、後期研修、専攻医や様々な立場の方のお話を聞くことができ有意義な時間となりました。
- ▶女性医師支援の目標数値を示してください。



## 【医学生と医師のお茶会】

日時：令和5年12月7日(木) 16:30～18:00

場所：広島大学広仁会館中会議室

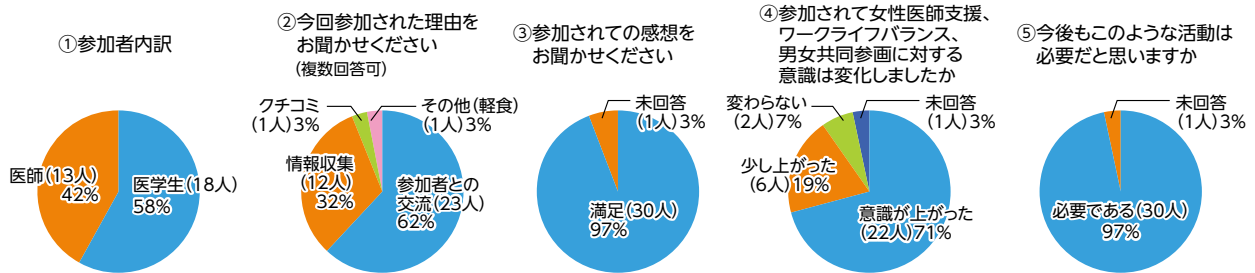
平成27年度の開始から、今年度で9回目の開催となった。参加者は医学生23人、医師19人、その他2名の計44人となった。

今年度から新型コロナウイルス感染症流行以前の開催形態に戻した。お茶・コーヒーやケーキを飲食しながらの現地開催を行った。あらかじめ参加予定の学生から話を聞いてみたい、興味のある科や質問内容を収集し、なるべくそれに答えられるように対象の医師に積極的に声をかけた。はじめに、HUH (Hiroshima University Hospital) 活躍支援助成を受けた2名の医師から、研究内容や成果、子育てをしながら臨床・研究を行う工夫などの発表があり、様々な苦労がありながらも努力し、楽しく子育ても研究も行なっていることが話された。引き続き茶話会とし、いくつかのグループにわかれ、それぞれのテーブルでの自由交流を行った。

参加した学生は皆、参加してよかったとの感想であったが、もっと多くの学生が参加してくれるように、内容の企画や広報については更なる検討が必要と思われた。事前に多くの学生から意見を聞き、多くの学生にとって有益な時間となるように次年度につなげていきたい。



R5年度アンケート結果(回収率73.8%)



～参加者アンケートより～

■感想・意見

医学生からの意見

- ▶本日はこのような会を開いていただき大変ありがとうございました。次回も是非参加させていただきたいです。
- ▶ワークライフバランスがしっかり保てるのがわかり安心しました。
- ▶貴重なお時間ありがとうございました。
- ▶このたびは貴重な経験をありがとうございました。

■次回開催した場合、取り上げたらよいと思うテーマ等

医学生からの意見

- ▶後悔していること。学生のうちにすべきだと思うこと。
- ▶女性医師1人1人の働きなどを詳しく伺ってみたい。  
日々のスケジュール、ブランクの時期など。
- ▶労働時間と給与の実際。



成果

広島大学病院女性医師支援センターと広島県医師会との連携により、医学生、研修医等をサポートするための会および医学生と医師のお茶会を継続的に開催することができている。特に、この連携によって医学生、研修医等をサポートするための会への男子学生を含む医学生の参加者は継続して得られており、若い世代へのダイバーシティを考慮した情報提供、問題提起・解決策討論という目的を果たすことができていると考える。お茶会については、令和元年度からポスターの女子・女性という文字を削除した。このお茶会は、女子医学生や研修医が医師として働く際の女性特有の問題についてロールモデルを示しながら共に考えていこうという趣旨で行なっているが、実際には男性医師の理解も重要となるため、男子学生の参加も推進したいという思いからである。実際に男子学生の参加は少数ながら得られており、男性に学生の時からこの問題に対して興味をもち考えていただく良い機会になっていると考える。お茶会には毎年男子医師も参加されており、医学生にとっては、男性医師からみた女性医師の働き方に関するディスカッションも大変参考になっている様子である。さらなる男子学生・医師の参加を得て、出産・育児・介護と医師の働き方について、あるいはキャリア継続における問題について、男女ともに学生時代から討論できる機会を作っていきたい。支援したい医師がたくさんいる中で、支援したい気持ちを学生にうまく伝える必要があると考え、今後も学生のニーズに応えられるようにコミュニケーションをとり、会を企画していきたい。

## 1-(2) センター運営会議

### センターの具体的活動目標

- 各診療科からの女性医師支援のための提案の受入
- 女性医師を含めた医局との連絡網の充実
- 勤務条件に制約のある女性医師の医局人事外での就職のサポート
- 保育所の情報収集と伝達
- 病児保育に関する情報収集と伝達
- 医学部学生時代からのキャリア形成紹介と教育

### 女性医師支援センター運営委員会

委員長：堤 保夫 教授・センター長

副委員長：石田 万里 准教授・副センター長

中島 祐子 講師・副センター長

	委員名	所属	職名	専門分野等
1	堤 保夫	大学院医系科学研究科	教授	麻酔蘇生学
2	石田 万里	大学院医系科学研究科	准教授	心臓血管生理医学
3	中島 祐子	病院	講師	整形外科
4	大月 幸子	大学院医系科学研究科	助教	麻酔蘇生学
5	香川 礼子	病院	助教	小児科
6	向井 百合香	病院	助教	産科婦人科学
7	小川 結衣	病院	医科診療医	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
8	蓮沼 直子	大学院医系科学研究科	教授	医学教育学
9	奥道 秀明	大学院医系科学研究科	特任助教	視覚病態学
10	長野 学	病院	助教	内分泌・糖尿病内科
11	松尾 佳美	病院	助教	皮膚科
12	帖佐 啓吾	病院	助教	放射線診断科
13	網岡 愛	病院	医科診療医	乳腺外科
14	松田 万莉	病院	非常勤医師	放射線診断科
15	小左古 学	病院運営支援部総務グループ	グループリーダー	

## 令和5年度委員会開催状況

第1回	
日 時	令和5年5月23日(火) 17時から
議 題	1 広島大学病院女性医師支援センターの運営組織について
	2 令和5年度女性医師支援センターの年間事業について
	3 その他
第2回	
日 時	令和5年6月20日(火) 17時から
議 題	1 令和5年度広島大学病院女性研究者奨励賞について
	2 令和5年度広島大学病院活躍支援助成について
	3 今後の事業の日程について
	4 その他
第3回	
日 時	令和5年9月28日(木) 17時から
議 題	1 令和5年度広島大学病院女性研究者奨励賞について
	2 令和5年度広島大学病院活躍支援助成について
	3 今後の事業の日程について
	4 その他
第4回	
日 時	令和5年10月19日(木) 17時30分から
議 題	1 令和5年度広島県女性医師支援総合会議の議題について
	2 令和5年度医学生・研修医等をサポートするための会について
	3 令和5年度医学生と医師のお茶会について
	4 その他

## 広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則

平成 29.3.22

病院長決裁

(設置)

第1条 広島大学病院女性医師支援センター内規第8条の規定に基づき、広島大学病院女性医師支援センター運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 女性医師支援センターの運営に関する事項
- (2) 女性医師支援センターの業務に関する事項
- (3) その他女性医師支援センターに関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) 女性医師支援センター長
- (2) 女性医師支援センター副センター長
- (3) 内科系の女性医師のうちから2名
- (4) 外科系の女性医師のうちから2名
- (5) 病院運営支援部総務グループリーダー
- (6) その他病院長が必要と認めた者若干人

2 委員は、病院長が任命又は委嘱する。

3 第1項第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、2年とし、4月1日に任命又は委嘱することを常例とする。ただし、4月2日以降に任命又は委嘱された委員の任期は、その任命又は委嘱の日から起算して1年を経過した日の属する年度の末日までとする。

4 第1項第3号から第6号までの委員の再任は、妨げない。

(会議)

第4条 委員会に委員長を置き、女性医師支援センター長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、女性医師支援センター副センター長がその職務を代行する。

第5条 委員会は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(情報公開)

第6条 委員長は、委員会に係る情報のうち、個人情報等で公開が不相当と認められるものを除き、広島大学病院に係る教職員に対し、その情報の公開に努めるものとする。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、医療政策室医療政策・医学系研究推進グループにおいて処理する。

(細則の改廃)

第8条 この細則の改廃は、病院運営会議の議決により行う。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この細則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 30 年 4 月 26 日 一部改正)

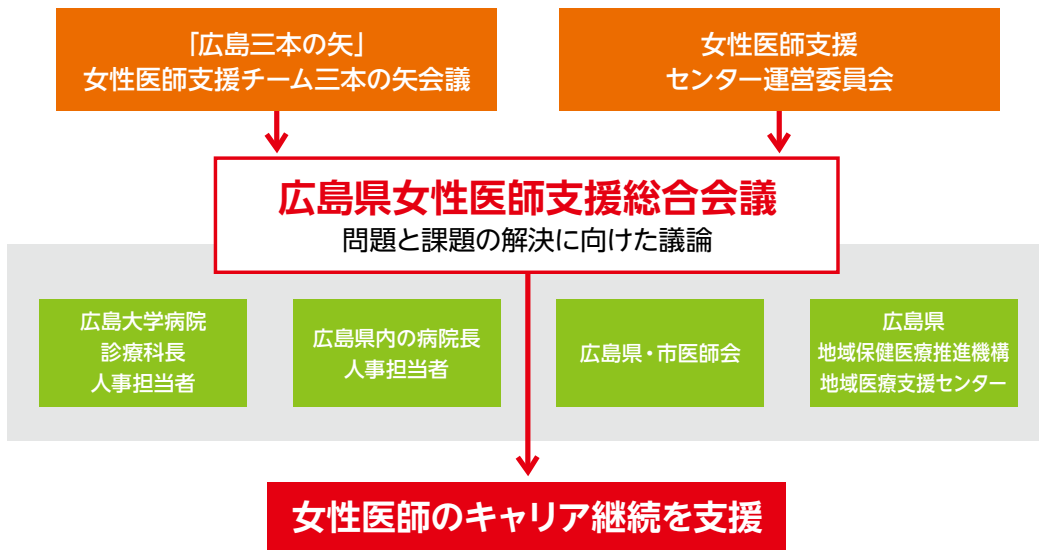
この細則は、平成 30 年 4 月 26 日から施行し、改正後の広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則の規定は、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。

附 則(令和 2 年 9 月 18 日 一部改正)

この細則は、令和 2 年 9 月 18 日から施行し、この細則による改正後の広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則の規定は令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

### 1-(3) 広島県女性医師支援総合会議

女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成に関わる問題点の共有および解決策の検討のために大学病院診療科長、各診療科人事担当者、広島県内の病院長あるいは人事関連担当者、広島県、広島県および広島市医師会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センターなどすべての関係者を対象とし、開催する。特に教育関連病院の人事が行われる年末より前に、女性医師の希望、診療科の状況、教育関連病院の実態等を総合的に議論し、女性医師と病院のマッチングの会議とする。



【日時】 令和5年 11月 16日 (木) 17:00～18:00

【場所】 オンライン会議

参加者

- 大学病院 16 診療科から課長又は各医局等人事担当者
- 教育関連病院 15 施設の病院長又は人事担当者
- 広島県
- 広島県医師会
- 広島市医師会
- 広島大学病院女性医師支援センター運営委員会委員



当日は、議長をつとめる堤センター長からの挨拶の後、石田副センター長から広島大学病院女性医師支援センターの取り組みについて報告があった。

議長からは、本会議の役割について説明があり、育児中などで制約のある女性医師がキャリアを継続できるよう、また、短時間でも勤務できる女性医師を必要とする病院との医局人事以外でのマッチングについて依頼があった。その後、関連病院と各診療科に事前に記入していただいたアンケートをもとに、院内保育の設置状況・使用状況、特に夜間・休日の使用状況について、病院内カンファレンスの実施時間帯について、時短勤務の条件について、活発な意見交換が行われた。最後に、石田副センター長から広島県医師会が実施している保育サポーターバンクの取り組みについて説明があった。

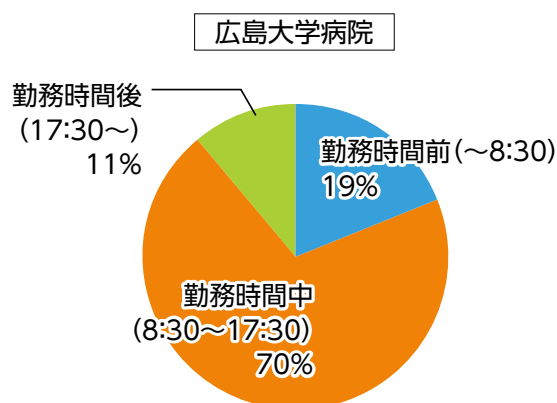
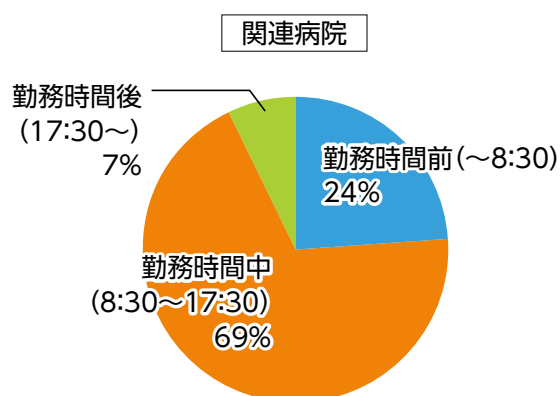
事前アンケートの結果に従い討議を行った。

● 病院内カンファレンスの実施時間帯について

事前アンケート結果

- 基本的には就業時間内でおこなっている。
- 16:30～を基本とする。臨時カンファレンスが時間外になることは許容するが、定期カンファレンスは時間内に開始することを通告している。
- 科によって様々だが、始業時間前に実施されている診療科が多い。
- 診療開始前の7:30～9:00前、診療終了後の17:30～18:30等が多い。月数回の合同カンファレンス等は2時間程度の時間を要するものもある。

カンファレンスの開始時間帯



討議内容

- 本院の手術の開始時間が8:15のため、手術前のカンファレンスということで7:45開始となっている。
- 総合内科・総合診療科は時間内に実施している。
- 初期臨床関係で各診療科にアンケートをした結果、どの診療科もカンファレンスの時間帯については苦勞をしているが、麻酔科と消化器内科のカンファレンスが時間外であることが多かった。
- Webでのカンファレンスについては度々議題に上がるが、個人情報等の関係で現在は実施していない。
- 医局会については、現在17:00以降に開催しており育児世帯には負担となっているため、昼の時間帯の開催等を検討中。
- Webでのカンファレンスについては、リサーチのカンファレンスのみ実施している。リサーチは画像を使用するので、パソコンの前の方が分かり易く、コロナ禍後もWebで実施している。開始時間が19:00であり、育児世帯には夕食の時間と重なり厳しいが、大学病院外の人にも参加してもらうためには、日中は手術等があることが多いため、全員が参加しやすい時間設定となっている。今後も検討は必要。
- ほとんどのカンファレンスは時間外に実施している。
- 時間帯については各診療科に任せているのが現状。
- 麻酔科は、朝早い時間にカンファレンスを実施している。手術のスケジュールの都合があるため、実施できる時間帯を考えるとどうしても朝早くなる。麻酔科の主任部長は女性医師であるが朝早くから出勤する姿を見る。これに関しては解決が難しい。
- 麻酔科は朝早くから、消化器外科は8:00から、泌尿器科は8:20から実施している。どの診療科も、診療に影響がない時間帯を選んでいる。
- 4月以降は時間外の手当が必要になると思う。

## ●時短勤務について

### 事前アンケート結果

- 3歳未満の子(3歳の誕生日の前日)を養育する場合に取得可能。(5施設)
- 4歳に満たない子と同居し養育する場合取得可能(1施設)
- 小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合取得可能(7施設)
- 小学校6学年修了までの子を養育する場合取得可能(1施設)
- 個々のケースに応じて、設定し処遇も相談応需としている。決まった条件はない。

### 討議内容

- 子どもが3歳未満の場合は取得可能。小学生は難しい。
- 3歳以降の場合、時短勤務はできないが、17:00までの勤務となっている
- 3歳以降で時短勤務をしたい場合、過去には個別案件として対応したことがあるが、現在はこの規則内で勤務している。今後も検討は必要。
- 各診療科で対応が異なるが、医科診療医等の時間が決まっている医師の場合も柔軟に対応している。
- 未就学児を対象に時短勤務が可能であり、現在8名の女性医師が取得している。時短の勤務方法が5種類ぐらいあり、それぞれ希望にあった勤務方法を選択している。取得しているのは麻酔科の医師が多い。
- 現在、男性医師にも時短勤務を適用することを考えており、内容も育児だけではなく研究等にも適用できるように検討しているが、病院自体が公立的な面もあるため、なかなか難しい。

## ●時短勤務の条件・介護に関する制度について

- 介護休暇は取得可能。医師も利用している。
- 制度としては男性医師でも時短勤務は可能だが、実際取得しているのは女性医師のみ。
- 介護による時短勤務も取得可能。
- 医師が介護を理由に時短勤務を申請したのは聞いたことがない。看護師はある。
- 男性医師の時短勤務や対象となる子どもの年齢引き上げについては、すぐの対応は無理だが将来的には考え

る必要があるかもしれない。

- 時短勤務の条件については、それぞれの病院・診療科の事情があるため、一律にできない。
- 医師不足になるかもしれない状況を考えると、1人で8時間ではなくて、2人で4時間でも病院としても戦力としてはありがたい。
- 日当直に関して、今までは子どもが未就学児の場合は免除だったが、今年から小学6年生までは本人の申請があれば免除するようになった。子どもが小学生の間も重要な時期であるため、しっかり育児をしてもらいたいと当院は考えている。
- 育児に関する時短勤務は子どもが3歳までなら取得可能。それ以降については病院長判断で個別対応するときいている。
- 介護は介護休職を取得できる制度があるが、ここ数年では医師が取得したという報告はない。
- 育児は子どもが3歳までは時短勤務を取得可能で、6歳までは週4日の短日数の勤務が選択できる。
- 保育園の利用状況は、3歳までがほとんどで、4歳以降になると市中の公立の保育園に入所させることが医師も看護師も多い。
- 院内でも医師以外はフレックス制を導入しているため実質時短勤務になるよう調整できる状況。医師についてはフレックス制の導入が協議中のため、規則どおり3歳未満までとなっている。
- 育児は子どもが3歳までは時短勤務を取得可能。6歳までは連合会の規定でまだ難しい。
- 介護は介護休暇を取得可能だが、取得した医師はいない。
- 連合会の規定やその他の病院も規定等で時短勤務を取得できる年齢制限等があると思うので、厚労省から言ってもらえる方が動きやすいと思う。
- 当院は産婦人科に女性医師が多いが、実際、時短勤務を取得する際はその診療科に所属する医師の人数が関係してくる。医師の数が倍ぐらいになれば、そういうフレキシブルな対応が可能だと思う。
- 他の医療センターと同様に、育児については、男性医師も女性医師も未就学児は時短勤務可能で、現在は女

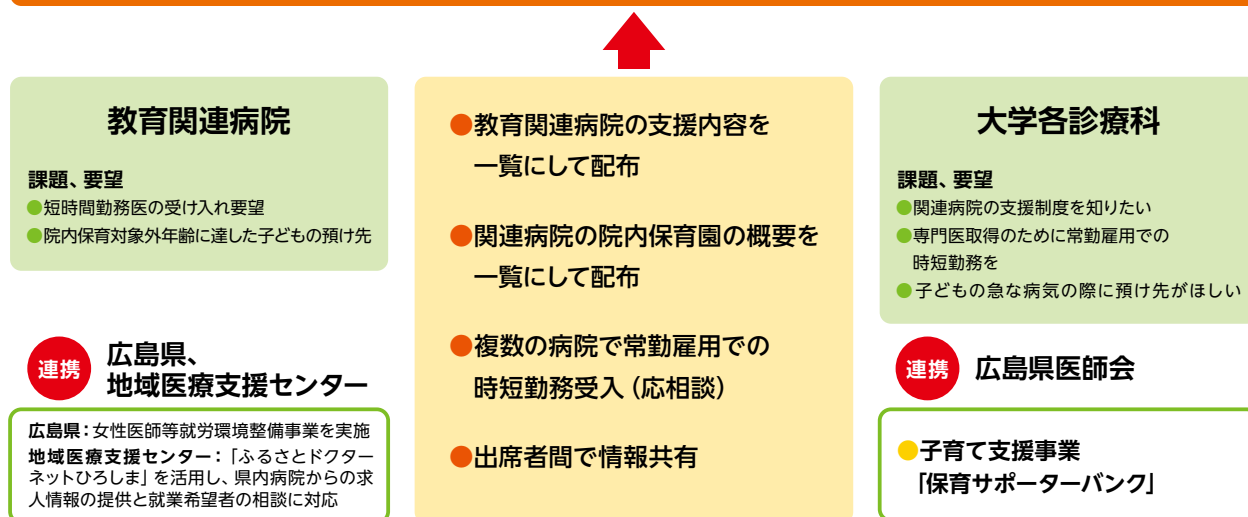
性医師が診療科と調整しながら取得している状況。

- 介護については、制度はあるが、医師からの申請は聞いたことがない。
- 当院は、大学の医局と各診療科の医長の話し合いで受け入れる医師が決まってくるので、フレキシブルな勤務だと正直診療科が回らない。
- 時短勤務等を取得する医師の代わりに、常に病院の周辺で待機しなくてはならないような医師達のことを考えることも必要。
- 以前、関連病院及び各診療科への調査で、女性医師の約1/3が育休で仕事を休んでいたり、時短勤務等を使って仕事をしていたりする結果になった。育休明けに、育児をしながら医師として復帰しやすいように時短勤務の条件について考える必要があり、医師として復帰することへの後押しをするためにも大学病院と関連病院の協力が必要と考える。

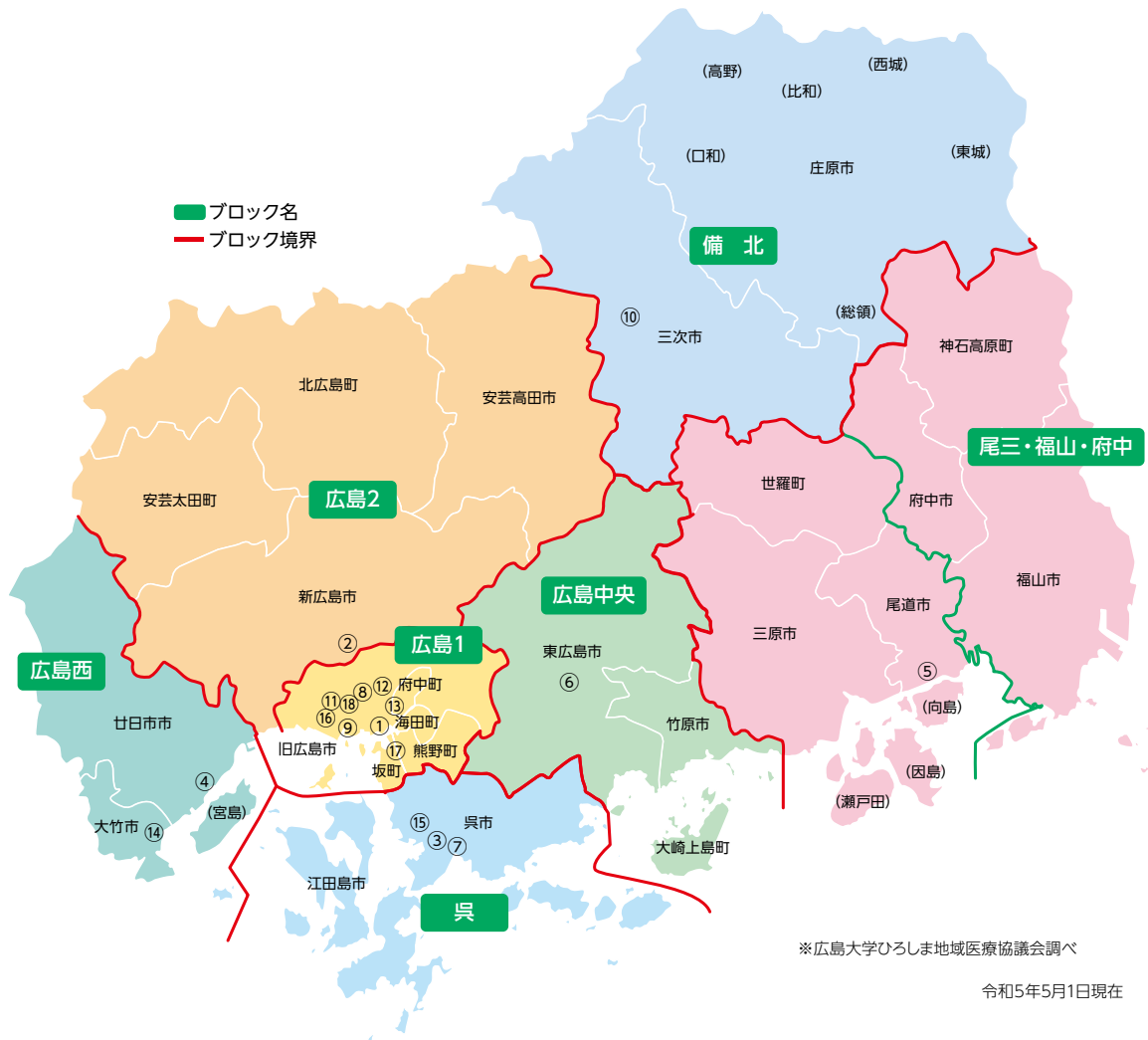
#### ● 院内保育施設の設置、夜間保育・病児保育について

- ほとんどの関連病院に院内保育の設置がある（詳細は p.28 の表）
- 職員からの要望により、開所日が 365 日になったが、実際は 50 名定員で一桁台の利用となっており、土曜日・日曜日も開所しているがほとんど利用がない。
- 医師の利用は少なく、かつ平日のみで、看護師の利用が多い。
- 医師が 4 名利用しており、全員男性医師。女性医師に保育園を利用する年齢の子どもがいなかったためと考えられる。
- 定員が 60 名だが、利用者は 24 名となっており、随時入所可能となっている。看護師の利用が多い。

## 相互の希望をマッチングしてキャリア継続支援



広島大学関連の人事交流医師数 27人以上の病院分布図



① 県立広島病院	⑥ 東広島医療センター	⑪ 土谷総合病院	⑬ 舟入市民病院
② 安佐市民病院	⑦ 中国労災病院	⑫ JR広島病院	⑭ 済生会広島病院
③ 呉医療センター	⑧ 広島市民病院	⑬ マツダ病院	⑮ 中電病院
④ JA広島総合病院	⑨ 広島赤十字・原爆病院	⑭ 広島西医療センター	
⑤ JA尾道総合病院	⑩ 三次市立三次中央病院	⑮ 呉共済病院	

## 2. 相談窓口等にかかる取り組み

### どの窓口にも相談しても三者で情報を共有し支援につなげる取組



平成 29 年 4 月 1 日付けで開設した広島大学病院女性医師支援センターでは、相談窓口を設置し、平日の 8:30 から 17:15 まで相談を受け付けてきた。また、直接来られない場合でも、電話又はメール、女性医師支援センターのホームページでの相談を受け付け対応しており、相談窓口の設置についてはセンターのホームページでも広く案内している。これとは別に、広島県医師会にも女性医師等相談窓口があり、また、広島県地域医療支援センターでも相談を受け付けるなど、それぞれの窓口にあった相談については個々に対応する場合もあり、広島県内の女性医師が抱える問題にかかる総合的な情報共有のあり方が課題であった。

そこで、平成 30 年度から「広島三本の矢：女性医師支援チーム」を設立し、広島大学病院女性医師支援センター、広島県医師会、広島県地域医療支援センターが三位一体となって、互いに相談を受けた場合には、速やかにコアメンバー会議を開催し、支援策を展開するという体制を整えた。そして、相談のあった事例については、広島県女性医師支援総合会議で議論し、マッチングを行い、女性医師のキャリア継続を支援した。

相談内容	対 応
【広島大学病院】 Dr.JOYのタグビーコン（発信機）について	センター及び本院総務グループで相談の上、回答した。
女性医師が復職する際の保育園について	副センター長がヒアリング。

## 女性医師支援センター

### お問い合わせ

女性医師支援センターでは、皆さんからのご相談を受け付けています。

- ・休んでいたけど医師として復帰したい
- ・子どもの保育施設や育児支援に関する情報を知りたい
- ・仕事と育児を両立したい
- ・その他、女性医師としてのキャリアについての相談、など

何でもお気軽にご相談下さい。電話はもちろんメールでも受け付けていますので、忙しい方でも時間を気にせずご相談頂けます。ご希望があれば直接面談することも可能です。

ひとりで悩まず、まずはご相談ください。  
ご連絡をお待ちしています。

### ■ 住所

〒734-8551 広島市南区轟一丁目2番3号  
〔臨床管理棟2F西側・医療政策室内〕

### ■ 電話番号

TEL : 082-257-1576/FAX : 082-257-1703

### ■ メールアドレス

iryo-seisaku@office.hiroshima-u.ac.jp

### ■ ホームページ

<https://hosp-diversity.hiroshima-u.ac.jp/>



### 3. 勤務体制、診療体制にかかる取り組み

出産・育児等のために、長期にわたって医療現場から離れていた女性医師が、再び診療を行えるようになるまでには、一律の復職支援では十分ではない。復帰する診療科によって必要とされる手技や知識は全く異なるうえ、休んでいた期間の長さ、両親や配偶者の支援がどの程度受けられるか、子どもの健康状態がどうか、などによって、女性医師が必要とする支援は様々である。

本学病院においては、女性医師採用支援枠を設け、自由な就業時間を設定できるよう配慮し、常勤復帰までのサポートとすると同時に、診療科ごとに、女性医師の状況に応じて、柔軟な配慮を行うことができるよう取り組んだ。

具体例を以下に記載する。

#### 各診療科独自の取り組み

- 女性医師との日程調整
- 朝8時台のカンファレンス、ミーティングの免除
- Web 会議ツールを用いたカンファレンスの実施
- カンファレンスを就業時間内に行う
- 緊急手術、緊急処置などの際に勤務時間延長とならないよう配慮
- 子の急病などの際の勤務変更など配慮
- 家庭の事情などによる勤務時間、勤務形態などの変更への配慮
- 時間短縮勤務の徹底
- 急な欠勤も対応可能にする
- 日当直及び夜間待機の免除
- 診療科スタッフの診療支援（陪席、技術支援）
- 日常診療や最新医療の知識、手技の獲得

また、久留米大学、広島大学、岡山大学、佐賀大学、九州大学の共同で「医師のワークモチベーションを維持する動機づけ因子の研究」を行っている。現在解析中であるが、解析の中で事例個別の検討が重要と考えられたため、研究期間を延長し、動機付けと実際の活動の関係をより深く解析中である。このアンケートを通して女性医師等支援における時期的・質的方策を練る予定である。また、今回は男性医師もアンケートの対象に含めることから、本アンケートから女性医師等支援において留意すべき点、改善の必要な点についての方策を検討できる。

## 4. 保育にかかるとの取り組み

### 小学校・保育園の臨時休校・休園にかかる学童保育利用を支援

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へと移行したものの、小学校や保育園が臨時休校・休園になった場合、子どもがいる医師の家庭においては、保護者も医療従事者として勤務を継続することを求められる中、子どもの預け先に苦慮する状況となるため、引き続き、臨時休校・休園の際に民間の学童保育やベビーシッター等を利用した医師の家庭に対しては、利用料の一部を支援することとした。

### 関連病院等の院内保育園について情報提供

霞キャンパスの敷地内では、たんぼぼ保育園（定員69名）と、こすもす保育室（定員6名）を設置し、教職員の仕事と子育ての両立を支援しており、入園募集の開始などについて、適時に女性医師支援センターのHPに掲載するとともに、メーリングリストを活用して情報提供するほか、小学校の長期休業期間内に霞キャンパスの敷地内で実施される学童保育や、病後児保育利用料補助事業の募集などについても、情報提供を継続している。



また、人事交流で異動しながら勤務することが多い医師のために、関連病院の協力を得て、各病院が運営する院内保育園の定員、開園時間、保育料、入園申込みの連絡先などの情報を一覧にまとめ、HPに掲載している。

### 保育園の設置状況 R6.2.29 広島大学病院女性医師支援センター調べ

施設名	保育施設名称	利用対象職種	定員	年齢別内訳	開所日	日祝	保育時間	延長保育	保育料	病児・病後児保育	夜間保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決定時期	担当連絡先	年度途中入園	備考	
1	県立広島病院	みらい保育所	40人程度	年齢別の定員なし 減った分は延長で	月～土	なし	7:15-18:15	18:15-20:15	広島市規定に準ずる	あり	月2回	あり	随時		総務課庶務係 082-254-1818	空きがあれば可	日曜保育は月一回	
2	広島市立北部医療センター安佐市民病院	あいぐらん保育園のぼえ	90人	生後2か月～小学校未就学児まで 年齢別の定員なし	365日（ただし土日祝などで、利用児童がいない日は休園）	あり	7:30-18:30	18:30-19:30	【3歳未満】 30,000円 【3歳以上】 0円（無償化対象者） ただし、別途給食費5,500円	あり	週2回（火曜・木曜）	あり	随時		あいぐらん保育園のぼえ 082-847-6604	空きがあれば可	令和4年5月の病院移転開業に伴い、院内保育園が働きやすい企業主導型保育園となりました。【病院敷地外ですが、病院のすぐ横に設置】引き続き事業所保育園として機能します。	
3	広島市立広島市民病院	くるみ保育室	50人	0～3歳まで 3歳になった年度末まで	365日	あり	7:00-18:00	18:00-20:30	月額22,000円（日額1,100円） 給食代（1食300円・おやつ代（1食50円）は別途徴収	病後児保育あり	週1回 木曜日	あり	入所希望月の前月20日まで		総務課庶務係 082-212-3134	空きがあれば可		
4	広島市立舟入市民病院	なし																
5	広島赤十字・原爆病院	院内保育所 こころ	全職種	30人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-19:30	あり 延長2時間	なし	あり	あり	1月以降	3月中旬頃	人事課 082-241-3111(内)3142	空きがあれば可		
6	JA 広島総合病院	さくら保育園	病児職員 (有期契約者除く)	60人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-19:30	なし	なし	あり 金曜日のみ	あり	常時		総務課 0829-36-3111(代)	空きがあれば可		
7	JA 尾道総合病院	すくすく保育所	全職種	42人	年齢別の定員なし 0～3歳まで 3歳になった年度末まで	月～金	なし	7:30-18:00	なし	なし	なし	あり	9月中旬頃	11月頃	人事課 0848-22-8111	空きがあれば可		
8	JR 広島病院	のぞみ保育園	職種の制限なし	46人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-18:30	18:30-19:00	32,000円(3歳未満) 8,000円(3歳) 8,900円(4歳以上)	病児保育あり	なし	あり	1月以降	2月頃	事務部総務企画課 082-262-1171	空きがあれば可	
9	中国電力株式会社 中電病院	なし																
10	マツダ病院	にこにこキッズ園		20人	年齢別の定員なし	病院開院日	あり	7:30-18:30	18:30-19:30	48,000円(3歳未満) 27,500円(3歳以上)	なし	月2回 第2・4金曜日	あり	10月1日頃	総務チーム 070-7577-0535	空きがあれば可		
11	中国労災病院	もみじ保育園		33人	0～3歳まで 3歳になった年度末まで	月～金	なし	7:30-17:30	17:30-19:00	22,000円 (給食代1食280円、おやつ代1食80円は別途徴収)	なし	なし	あり		総務課 0823-72-7171	空きがあれば可		
12	呉共済病院	駅前せいらんじ	全職種	52人	0歳12人、1歳20人、2歳20人、3歳～5歳なし	月～土	なし	7:30-18:30	18:30-21:00	37,100円(0歳) 37,000円(1歳以上)	なし	なし	あり	随時	随時	総務課 0823-22-2111	可	
13	呉医療センター・中国がんセンター	すずらん園		50人	0歳3人、1-2歳18人、3歳5人、4歳4人、5歳2人	月～土(土曜は第2、第4のみ)	なし	7:45-19:00	19:00-21:00	24,000円(2歳未満) 22,000円(2歳以上)	なし	あり	あり	不定期	不定期	0823-22-3111(代)	空きがあれば可	
14	東広島医療センター	あゆみ園	全職種	60人	年齢別の定員なし	月～金	あり(土曜も)	7:45-18:30	7:30-18:30	29,900～31,900円(3歳未満) 26,900円(3歳以上)	なし	なし	あり	随時	保育所 082-423-2176(代)	可		

施設名	施設名称	利用対象職種	定員	年齢別内訳	開所日	日祝	保育時間	延長保育	保育料	病児・病後児保育	夜間保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決定時期	担当連絡先	年度途中入園	備考	
15	広島西医療センター	たけのこ保育園	30人	生後8週間～4歳まで	月～土	なし	8:00-18:30	6:40-19:30	24,500円(0～1歳) 25,000円(1～2歳) 24,500円(2～3歳) 21,000円(3歳以上)	あり	なし	なし	入園しようとする1か月前までに入園申込書を提出。4月入園の場合3月1日頃	3月7日頃	たけのこ保育園 0827-59-3577	空きがあれば可		
16	土谷総合病院	なし															希望者数減少のため院内保育園休止	
17	市立三次中央病院	さくらんぼ	19人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-18:30	18:30-19:30	25,000円(3歳未満)	なし	なし	あり	随時		病院企画課 0824-65-0152	可		
18	広島大学病院	たんぼぼ保育園	69人	0歳児9人、1～5歳児まで各12人	月～土	なし	7:30-19:00	19:00-20:00	59,000円(3歳未満) 38,000円(3歳以上) ※給食費込み	他施設の利用料を補助	なし	あり	12月中旬～1月末	2月上旬頃	たんぼぼ保育園 082-257-5599	追加募集時のみ可	<a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/tanpopo/">https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/tanpopo/</a>	
19	広島大学病院	こすもす保育室	6人	生後9週以上15月未満(定員に空きありの場合2歳児まで)6人	月～金	なし	7:30-19:00	19:00-20:00	59,000円(0歳～2歳児) ※給食費込み	他施設の利用料を補助	なし	あり	1月中旬～2月下旬	3月上旬頃	男女共同参画推進室 082-424-4355	空きがあれば可	<a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/worklife/cosmos">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/worklife/cosmos</a> 入所待機児童を対象とする	
20	庄原赤十字病院	タンネの森	職員 15人	0歳～2歳	月～土	なし	7:30-18:30	18:30-19:30		あり[わらべ保育室]	あり(木曜日)	あり	随時		(事務室) 0824-74-6636	可		
21	社会福祉法人 恩賜財団 済生会広島病院	保育室 さくら																詳細不明
22	JA 広島厚生連 吉田総合病院	吉田総合病院 保嬰室																詳細不明
23	県立障害者リハビリテーションセンター	なし																
24	吉島病院	なし																
25	社会福祉法人 恩賜財団 済生会呉病院	保育室 [なでしこ]																
26	一陽会 原田病院	クローバー保育園	27人	職員の子で0歳から4歳までの乳幼児	月～土	※休養	7:30-19:30	夜間対応あり			夜間保育(週2回) 送)	あり						日曜日保育(月1回) 祝・定休日保育 <a href="https://www.i.c.y.or.jp/recruit/welfare/nursery_school.html">https://www.i.c.y.or.jp/recruit/welfare/nursery_school.html</a>
27	広島県立安芸津病院	なし																
28	三原市医師会病院	さつき保育園	病院職員				8:00-18:00	18:00-19:00										<a href="http://mihara-hiroshima-med.jp/hp/facility-information/welfare/satsuki-nursery/">http://mihara-hiroshima-med.jp/hp/facility-information/welfare/satsuki-nursery/</a>
29	呉市医師会病院	保育所 ひだまり	呉市医師会職員と会員医師の子	生後3か月(夜間は生後6か月)から満3歳になる年度の3月末	毎日	あり	24時間保育可能	※備考	月額 10,000円 日額(昼間) 1,000円 (夜間) 500円 (夜勤明け) 1,000円 (休日) 平日 1,000円 1日 2,000円	なし	あり	あり				(昼間) 8:30-17:15 (夜間) 16:30-翌朝 8:30 (夜勤明け) 8:30-17:15 (休日) 8:30-17:15  <a href="http://www.kure-hiroshima-med.or.jp/hp/hoiku.html">http://www.kure-hiroshima-med.or.jp/hp/hoiku.html</a>		
30	安芸市民病院	すこやか保育園	安芸市民病院に勤務する医療従事者(医師、看護師、医療技術員)	0歳～小学校就学前まで	月 火 木 金 土	なし	7:30-18:30	あり	0～2歳児 30,000円/月 3～5歳児 20,000円/月 2人目 10,000円引 延長保育 850円/60分 一時保育 3,000円/1日			あり			安芸市民病院 総務課 082-827-0121		<a href="http://www.hosp-city.hiroshima.med.or.jp/kangobu/nursery-school/">http://www.hosp-city.hiroshima.med.or.jp/kangobu/nursery-school/</a>	
31	三次地区医療センター	きらきら保育園	職員 ※地域の母子保健(パート)の方可	15人(地域枠4人)	満9ヵ月から3歳未満	月～土	原則なし	8:00-18:30	従業員:11,000円～22,000円(第3子は無料) 地域枠:三次市の定める保育料			あり					地域枠でのご利用を希望される方は、三次市子育て支援課にご相談下さい。 <a href="http://www.miyoshi-hiroshima-med.or.jp/html/kirakra.html">http://www.miyoshi-hiroshima-med.or.jp/html/kirakra.html</a>	
32	総合病院 福屋生協病院	ひまわり保育園 ぼかぼか保育園	病院職員 ※ひまわり保育園は地域の母子保健も可	22人	生後8週から3歳を迎える年度末	月～土	あり	※備考	(地域枠) 広島市が決定した利用者負担額(従業員枠) 広島市が決定した利用者負担額から2割減額し、上限額は35,000円	あり	あり	あり			ひまわり保育園 082-292-3183 ぼかぼか保育園 082-292-3179	ひまわり保育園 7:30～18:30 ぼかぼか保育園 8:00～17:30 <a href="http://www.h.ch.coop/hch/himawari/index.html">http://www.h.ch.coop/hch/himawari/index.html</a>		
33	三原赤十字病院	三原赤十字病院院内保育所																
34	公立みつぎ総合病院	院内保育所 あゆみ																
35	公立世羅中央病院	きらめきキッズルーム	企業団に勤務する職員	18人	生後2ヶ月から小学校3年生まで	12/29～1/3以外開所	あり	※備考	就学前保育 3歳未満/15,000円 3歳以上/11,000円 延長保育/200円  学童保育 5月、6月、9月～11月、2月………3,000円 4月、7月、12月、1月、3月………4,000円 8月………5,000円						0847-22-2577	就学前保育・通常の保育/7:30-18:00 学童保育 通常の保育/15:30-18:00 <a href="http://www.serachuo-hp.jp/info/hoikuen.html">http://www.serachuo-hp.jp/info/hoikuen.html</a>		
36	安芸太田病院	なし																
37	広島記念病院	なし																
38	大慈会 三原病院	ひまわり保育所	40人	1歳児～未就学児(6歳まで)			8:00-19:00		無料									<a href="https://miharahp.com/recruit/about/">https://miharahp.com/recruit/about/</a>
39	国立病院機構 福山医療センター	杉の子保育園	院内職員	生後6週間～3歳児 ※幼稚園とのリレー保育の場合就学前まで														<a href="https://fukuyama.hosp.go.jp/welfare.html">https://fukuyama.hosp.go.jp/welfare.html</a>
40	広島市こども療育センター	なし																
41	厚生堂 長崎病院	さくら保育園	職員	10人	0歳(生後2ヶ月)から就学前	月～土	なし	8:00-18:00	要問合せ									問い合わせ先: 事務長
42	信愛会 日比野病院	日比宅	23人						保育料1時間100円 給食費1食350円									<a href="https://shinaikai.hibino.or.jp/facility/hibitaku/">https://shinaikai.hibino.or.jp/facility/hibitaku/</a>

令和5年度  
活動報告

施設名	施設名称	利用対象職種	定員	年齢別内訳	開所日	日祝	保育時間	延長保育	保育料	病児・病後児保育	夜間保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決定時期	担当連絡先	年度途中入園	備考
43	国立病院機構 賀茂精神医療 センター	たんぽぽ 保育園		0歳児～6 歳児													<a href="https://kamo.hosp.go.jp/about/child_care.html">https://kamo.hosp.go.jp/about/child_care.html</a>
44	因島医師会 病院	あり															
45	たかまさ会 山崎病院	パンピ 保育所													082-280-0556		
46	光臨会 荒木脳神経 外科病院	アラキッズ ルーム	職員	12人	0歳児～小 学校就学前 の幼児	全日	あり		月額6,000円(給食 手作りおやつ代込) 一時預かり500円 (食事を含む)		あり	あり					<a href="https://arakihp.jp/recruit/welfare/arakids-room/">https://arakihp.jp/recruit/welfare/arakids-room/</a>
47	せのがわ 瀬野川病院	キッズ ルーム	医療法人せ のがわに勤 務する女性 スタッフ		生後3ヶ月～3 歳までとする。 (相談可)	月～土	なし	8:30- 18:00	一人目1日500円 二人目以上1日300円			なし					<a href="https://senogawa.jp/recruit/">https://senogawa.jp/recruit/</a>
48	井野口病院	なかよし 保育園	病院 スタッフ		育児休暇明けの 1才～3才まで の増設保育と、 長期休暇や放課 後に対応した小 学校3年生まで の一時預かり	月～土	あり	8:00-									<a href="https://www.inokuchi.or.jp/about/group/headquarters/nursery-school.html">https://www.inokuchi.or.jp/about/group/headquarters/nursery-school.html</a>
49	呉共済病院 忠海分院	なし															
50	祥和会 脳神経センター 大田記念病院	あすなろ 託児所	祥和会 職員専用									あり					<a href="https://otahp.jp/recruit/welfare/">https://otahp.jp/recruit/welfare/</a>
51	まりも会 ヒロシマ 平松病院	なし															
52	うすい会 高層ニュー タウン病院	高層 ニュータ ウン病院 保育室	法人職員が 保護者であ る家庭保育 が可能な乳 幼児		0歳～小 学校低学年 (一時預かり 可能)	365日		8:00- 18:30	1時間100円			なし					<a href="https://www.usukai.jp/recruit/">https://www.usukai.jp/recruit/</a>
53	広島厚生会 広島厚生病院	広島八景園 保育園 (近隣にあ るグループ 内施設の 院内保 育園)	職員	6人	0歳～3歳			7:30- 18:30									
54	ハートフルア リハビリテー ション病院	あまの 保育園	70人	0歳児:18名/ 1歳児:22名/ 2歳児:30名/ 3歳児:10名 (病後児保育4名)	月～金		7:50- 18:50		1才目13,000円(備前) 19,000円(備前) 2才目～11,000円(備前) 9,500円(備前)	病後児保育(火曜 日・日曜日休園) ※職員のみ	夜間・早朝 保育(水曜 日・土曜日 のみ) ※職員のみ	あり		あまの保育園 0829-32-8800			<a href="http://www.amano-reha.com/amano_hoikuen.html">http://www.amano-reha.com/amano_hoikuen.html</a>
55	広島県立障 害者療育支 援センター	なし															
56	樹草会 本永病院	あり															
57	辰川会 山陽病院	おひさま 保育園	従業員枠 17名 地域枠 13名	30人	0歳児(生 後2ヶ月)～ 2歳児	月～土		7:30- 18:30	辰川会グループ常勤 職員:15,000円/月 (法人規定による) 福山市から保育 認定された方:福 山市の規定による					084-927-0840		<a href="https://www.sanyo.or.jp/kids/">https://www.sanyo.or.jp/kids/</a>	
58	広島県立 福山若草園	なし															
59	広島逓信病院	なし															
60	一ノ瀬病院	なし															
61	井口医院	こども 育成舎 ゆう	約20人	0歳児 1、2歳児 3～6歳児 (就学前児) 各若千名	月～土	なし	8:00- 19:30		0歳児40,000円 1～6歳児35,000円			あり			082-824-8882		<a href="https://www.inokuchi-clinic.net/about/effort/nursery/">https://www.inokuchi-clinic.net/about/effort/nursery/</a>
62	祥和会 佐伯中央病院	なし															
63	清風会 口白市 記念病院	保育室	法人に 勤務する 職員	25人	0歳～6歳 までの乳幼児	全日	あり	24時間 保育 可能				あり					<a href="https://www.seifu.or.jp/kango/nursing/">https://www.seifu.or.jp/kango/nursing/</a>
64	せいざん 青山病院	職員専用 託児所			0歳～6歳まで	月～土		8:00- 18:00									
65	清幸会 三原城町病院	おひさま 保育所			0歳～未就 学児		あり	8:00- 18:00	木 18:00- 22:00			あり					<a href="https://www.mihara-shinomachi-hp.or.jp/recruit/working/daycare/">https://www.mihara-shinomachi-hp.or.jp/recruit/working/daycare/</a>
66	玄同会 小島病院	小島病院 託児所	職員	なし	産休明け～ 就学前まで	月曜日～ 土曜日		8:00- 18:00 (園児が いるまで)				あり					<a href="https://kobatake.or.jp/recruitment/benefit/">https://kobatake.or.jp/recruitment/benefit/</a>
67	慶寿会 千代田中央病院	なし															
68	せがわ会 千代田病院	たんぽぽ 保育所	医療法人 社団せが わ会職員	25人	0歳児から 小学3年生 まで	全日	あり	8:00- 18:00	A型(1ヵ月あたりの 利用日数がおおむ ね15日以上):月額 10,000円 B型(上記以外):日 額500円 ※おやつを注文され る場合は日額50円。		あり			総務課 0826-72-6511		<a href="http://www.chiyoda-hospital.or.jp/untitled22.html">http://www.chiyoda-hospital.or.jp/untitled22.html</a>	
69	松栄会 瀬野川病院	なし 設置予定なし															
70	財竹政会 セントラル病院	わくわく 託児所			0歳～3歳							あり					
71	府中 市民病院	おひさま 保育所															

施設名	保育施設名称	利用対象職種	定員	年齢別内訳	開所日	日祝	保育時間	延長保育	保育料	病児・病後児保育	夜間保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決定時期	担当連絡先	年度途中入園	備考
72	府中北市民病院	なし															
73	社団沼南会沼隈病院	託児所 つばさ	沼南会従業員	30人	産後から就学まで	月～土	※無休										月曜～土曜 AM8:00～PM6:00 (第1・3日曜日 AM8:00～PM6:00) ※必要時特許 <a href="https://www.shounankai.or.jp/recruit/welfare.html">https://www.shounankai.or.jp/recruit/welfare.html</a>
74	微風会ビハラー花の里病院	チャイルドハウス いつみ			1歳から												

一覧は、女性医師支援センターHP からダウンロードできます。

## 広島県医師会の保育サポーターバンクの運営を支援

子育て中の医師が仕事と家庭を両立させていくための支援として広島県医師会が運営を開始した保育サポーターバンクの運営について、大学病院内にポスター掲示し、各診療科へ案内を配布したほか、センターのHPへの掲載、各会議での紹介など、子育て中の医師への周知を図った。また、女性医師支援センター長と副センター長が、広島県医師会の「子育て支援事業運営委員会」の委員に就任するなど、事業運営においても緊密に連携している。

# 子育て中の 医師の方々へ!

広島県  
医師会

保育サポーターバンク

をご活用ください

---

### 保育サポーターバンクとは..

- 子育て中の医師が仕事と家庭を両立させていくための支援です。
- 支援内容は、保育サポーターが保育と併せて出来る範囲であれば制限はありません。  
(病児・病後児保育や家事支援も、双方の話し合いで合意すれば可能です。)
- 報酬は医師と保育サポーターが話合って決める2者間の委託契約となります。
- 保育サポーターの支援中は、本会の負担にて「子ども傷害保険」、「サポーター保険」が適用されます。

※保育サポーターの皆さんには子育て支援員研修を受講いただいております。

#### 支援の流れ

```

graph TD
    A[交際開始迄の「内容確認」  
「保育サポーター」の紹介] --> B[保育相談員  
(広島県医師会)  
「調整」]
    B --> C[当事者打ち合わせ(面談)  
支援申し込み]
    C --> D[支援開始]
    D --> E[支援終了・支払い]
    F[保育サポーター  
(提供役員)] --> B
    
```

#### 支援の例

- ☑ 子どもと一緒に医師宅(もしくはサポーター宅)で留守番。
- ☑ 保育園(幼稚園)・習い事や塾への送迎。  
並びにその前後の預かり。
- ☑ 残業の日、当直、急な呼び出しの時の子どもの預かり。
- ☑ 子どもと一緒に留守番をしながら、子どもの食事や簡単な掃除。

お申し込み・お問い合わせ

育児で困ったら、お電話かメールを下さい。広島県医師会は、子育て医師を応援します!男性医師からの相談も受け付けます。

082-568-1511

一般社団法人広島県医師会 保育サポーターバンク

〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目2番3号

sapo-to@hiroshima.med.or.jp

受付 月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00

厚生労働省 令和5年度 子育て世代の医療職支援事業実施報告書 | 31

## マタニティ白衣・マタニティスクラブ レンタル

平成29年7月から、マタニティ白衣を女性医師支援センターに備え、利用を希望する女性医師へのレンタルを開始し、令和3年3月からは、マタニティスクラブのレンタルも開始した。

学章が入るものと入らないもの2通りを用意し、広島大学病院だけでなく、広島県内に勤務する女性医師も着用できるよう配慮している。

令和5年度の利用実績については以下のとおりであった。

### マタニティ白衣

診療科等名	職名	貸出期間
口腔再建外科	助教(歯科医師)	令和5年9月～10月
※学外	医師	令和5年10月～令和6年1月
整形外科	医科診療医	令和6年1月～9月(予定)

### マタニティスクラブ

診療科等名	職名	貸出期間
口腔再建外科	助教(歯科医師)	令和5年9月～10月

広島大学病院女性医師支援センター

## マタニティ白衣・スクラブ レンタルします

おひとり2枚まで貸し出します  
サイズは3種類！

**広島県内の医療機関に勤務されている方へ**

- 郵送のご希望も受付ます。
- 学章の入らないタイプもご用意しています。

**マタニティ白衣等の特徴**

- 腹囲を調節できます。
- 臨月まで対応可能
- ダブル仕立てでお腹のふくらみが目立ちません。

受付時間 月～金曜日

**8:30～17:15**

(S・M・Lサイズあり)

**ご試着できます**



**広島大学病院女性医師支援センター**

広島市南区霞1-2-3 経営管理棟2階 (病院経営企画グループ奥の医療政策室内)

**082-257-1576**

内線(6856)

※教数に限りがありますので、まずはお電話ください。




## 5. 復職支援にかかる取り組み

出産・育児等のために、長期にわたって医療現場から離れていた女性医師が、再び診療を行えるようになるまでには、一律の復職支援では十分ではない。復帰する診療科によって必要とされる手技や知識は全く異なるうえ、休んでいた期間の長さ、両親や配偶者の支援がどの程度受けられるか、子どもの健康状態がどうか、などによって、女性医師が必要とする支援は様々である。

本学病院においては、診療科ごとに、女性医師の状況に応じて、柔軟な配慮を行うことができるよう、取り組んでおり、日本医師会女性医師支援センターが実施する女性医師の再研修受け入れに、再研修支援施設として登録している。

The screenshot shows the website for the Japanese Medical Association's Female Doctor Bank. The main heading is '初めての方へ' (For those who are new). Below this, there is a section titled '女性医師バンクとは' (What is the Female Doctor Bank?) which explains that it is a platform for female doctors to find jobs and receive support. The next section is '女性医師バンクの特徴' (Features of the Female Doctor Bank), which lists five points: 1. 日本全国、全国医師会ネットワークをフル活用 (Full utilization of the nationwide medical association network), 2. 専任コーディネーターが医師個人への相談と対応も承ります (Dedicated coordinators handle consultations for individual doctors), 3. 医師も、医師会が就業支援もサポート致します (Doctors and medical associations provide employment support), 4. 就業後のフォローも承ります (We also provide follow-up after employment), and 5. 復帰に向けた再研修が必要な方への研修も承ります (We also provide training for those who need retraining for return to work). The final section is '就業までの流れ' (Flow from job application to employment), which is a vertical flowchart with six steps: 1. 求職(基本情報、マイページ発行) (Job application (basic information, My Page issuance)), 2. 応募 (Application), 3. 就職条件の整理 (整理 of employment conditions), 4. 求人情報提供の提供 (Provision of job information), 5. 面接・見学 (Interview and site visit), and 6. 就業 (Employment).

## 6. 効果的支援策の普及活動の実績

### I. キャリア継続・復職・保育に関する支援

#### (1) 相談窓口、新たな支援要望情報の収集

- ①「広島三本の矢 女性医師支援チーム（広島大学病院女性医師支援センター、広島県医師会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センター）」による相談窓口について、広島大学病院院内掲示、ニュースレター、広島県医師会報等で周知を行った。
- ②女性医師支援センター ホームページ内に相談受付・回答、目安箱があることを広島大学病院院内掲示、ニュースレター、講演会開催の際のチラシ等で周知を行った。実際に働き方改革関係の相談が寄せられた。

#### (2) 勤務体制・診療体制の改善につながる取組

##### 医師のワークモチベーションの探索：

研究成果をワーキンググループで討議した。現在解析を追加中のため、今後、学会や広島大学のFDに対応する講演会で発表する。

#### (3) キャリアに対する理解・意識変革につながる取組

##### 女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成に関する講演会・お茶会の開催：

女性医師等が、病院勤務だけでなく開業や健診業務、介護施設勤務、企業の産業医、行政等、幅広いキャリアの可能性を知ってもらうため、広島県医師会に設置されている女性医師部会との連携により講演会を開催した。女性医師・女子医学生だけでなく、男性医師・男子医学生にも積極的に参加していただき職場全体での理解を図ることができた。また、質問や相談をしやすいお茶会も開催し、女性のみならず男性医師、医学科学生の参加も得た。男女学生にも積極的に情報を提供し、将来男女に関わりなくキャリア継続に関してお互いが協力できる環境を構築できるよう、現在の問題点や解決策について議論した。

#### (4) 保育環境改善につながる取組

##### ① Web 会議ツールを駆使したキャリア支援：

これまで対面で行っていたキャリア相談や参集していた会議や講演会等に関し、オンライン/リモートも併用して行った。また、これが全学的に普及するよう推進すると共に、今後対面が増える中でもハイブリッド方式が保たれるよう配慮している。

##### ② 夕方以降・休日の勉強会・研修会等開催時の託児経費補助：

各診療科のカンファレンスの勤務時間内開催が推進できた。夕方以降・休日の勉強会・研修会等開催時の託児経費補助ができることを周知した。

##### ③ 広島県医師会の子育て支援事業のサポート：

広島県医師会の保育サポーター事業について、利用者の増加を狙い広島大学病院内で広報した。日本医師会の中国四国ブロック会議等でも各県と問題点と好事例について議論を行った。

⑤ 保育情報の取りまとめと共有：

広島県下の主要病院および協力病院から院内保育についての情報を収集し、大学病院のホームページに掲載することにより広島県で就業するすべての医師と情報共有した。

⑥ 小学校の長期休暇期間中および緊急事態に呼応した子どもクラブの開設：

センターホームページ等で周知し、広島大学病院以外でも実施したい施設があれば、ノウハウについて情報を提供する。

## II. 活躍支援

HUH (Hiroshima University Hospital) 活躍支援助成：

支援助成への申請書を審査し、採択された助成については、受賞者に業績、使途内容等を医学生とのお茶会で発表していただいた。また、受賞者にはご自身の経験や学生に伝えたいことなど、キャリアに関する助言をしていただいた。

## III. 支援情報の周知、支援ニーズの把握

### (1) 広島県女性医師支援総合会議

本会議において周知・共有した支援情報は議事録として提供した。要望については対応を行い翌年の会議で報告、再度議論する。

### (2) 女性医師支援センター ホームページの利用

上記の事業の内容、公募、結果、相談回答等はすべてホームページで紹介した。

### (3) クリアファイルの作成

センターの存在、活動を周知するためのツールとして、センターの名前、ホームページの URL の入ったクリアファイルを作成し、講演会やお茶会、各種会議で配布した。



## 4 本事業からの今後の支援策

今年度は、「女性医療職等の働き方支援事業」における計画をもとに、女性医師への支援を実施してきたところであるが、今後の支援策としては、以下のとおり、継続、発展させていく。

広島大学病院では、今後も柔軟な働き方のしやすい環境整備、休業中の女性医師の復職支援を行い、医師全体の働き方の改革の一助になることを目指す。久留米大学との共同研究『医師のワークモチベーションの探索』の解析結果を、女性医師等支援における時期的・質的方策に盛り込み、今後の支援策に役立てる。

### 職場の理解にかかるとの取り組み

(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制を維持

現在の体制を維持しつつ、広島県ならびに広島県医師会との連携を強化する。

各団体と連携し、医学生へのサポートの拡充を図る。

各種事業を連携して実施するほか、新たな助成事業等の情報を得る。

(2) センター運営会議の定期開催

定期的な開催を継続し、女性医師が必要とする支援について検討する。

(3) 広島県女性医師支援総合会議の開催

年に1回の開催を継続し、医局等に所属する女性医師が、派遣人事の枠外にて関連病院等での勤務が可能となるマッチングを目指す。

### 相談窓口

「広島三本の矢」女性医師支援チームによる相談事業の拡充

### 勤務体制、診療体制にかかるとの取り組み

複数(チーム)主治医制を推進する。

### 保育にかかるとの取り組み

関連病院の院内保育園の情報共有、小学生の長期休暇中の学童保育や病児保育の利用料補助等の大学病院内において実施する各種保育事業の周知を図る。

広島県医師会が開始した保育サポーター事業の推進と普及に取り組む。

妊娠中の女性医師のためのマタニティ白衣やマタニティスクラブの貸し出しについて周知を図る。

### 支援に関する広報

広島大学病院女性医師支援センターの支援や取り組みをより多くの人に広報するため、令和3年度に新規作成したホームページの活用を促進し、より多くの方からの意見を得られるよう工夫する。またこのホームページを通して女性医師支援センターの活動を積極的に周知し、フィードバックを得られるよう設定し、改善点の要望・意見を収集する。

## 5 外部評価

「令和5年度 子育て世代の医療職支援事業」の実施について外部から評価いただくため、事業報告書を送付し、書面での外部評価を受審。

### 外部評価委員

檜山 桂子（広島県医師会常任理事、日本医師会男女共同参画委員、医療法人社団福原医院院長）

### 個別評価項目

#### (1) 職場の理解にかかる取り組み

職場の理解を得るには、女性医師のみならず、男性医師にも取り組みを理解して参画してもらうこと、男性医師も対象にした取り組みであること、が必要です。その意味で、男性医師にとっても有用な講演や情報交換の場を企画し、男子学生、男性医師の参加もあることは良いと思います。

広島県女性医師支援総合会議は、広島大学病院各診療科・広島県内各病院・広島県・広島県および広島市医師会・広島県地域保健医療推進機構等の人事責任者や女性医師支援担当者が一堂に会して情報を共有し課題を協議する広島県独自の素晴らしい取り組みですが、大学病院各診療科からは科長・人事担当者の参加が少なかつたのは残念です。各病院からは病院長の参加も多く、大学とそれ以外でこの取り組みへの温度差が感じられました。

#### (2) 相談窓口等にかかる取り組み

広島県においては、大学と医師会と行政の協力体制が良く、相談窓口についても、それぞれの入口から入っても情報共有されることは利用者にとって有用とかがえます。

#### (3) 勤務体制、診療体制にかかる取り組み

出産育児を機に長期休業すると、医学の進歩に追いつけない不安感から復職が遅れ、最悪戻れないこともあるため、短時間でも早期に復職することが重要です。その意味で、広島大学病院の女性医師採用支援枠で多様な勤務形態を選択できることは意義深いと思います。さらに多様な復職を選択できるよう、各診療科の長や人事担当者には、日本医師会の女性医師バンクやふるさとドクターネット広島など、学外の商業ベースではない医師バンクの利用にも理解を示し活用してほしいところです。

#### (4) 保育にかかる取り組み

人広島大学病院内の保育園のみならず、関連病院の院内保育園情報、広島県医師会の保育サポーターバンクの情報など、情報提供されているのは有用です。また、いち早くマタニティ白衣のレンタルを開始されたことも評価されます。

#### (5) 復職支援にかかる取り組み

復職するにあたり再研修の希望は多く、利用しやすいよう整備してください。

#### (6) 効果的支援策の普及活動の実績

女性医師は科研費の採択割合も少ない中で、独自に HUH 活躍支援助成を創設されたことは、モチベーションの向上にもつながり、またお茶会での受賞公表は医学生への刺激にもなり、良い取り組みと評価します。

## 全体評価及び講評

広島大学に女性医師支援センターが発足してから、毎年つぎつぎと新たな支援企画を加え、支援が多岐にわたり充実してきているのはすばらしいです。ただ、専任教員なしでこれだけの企画を遂行されるのは負担も大きいのではないかと恐れ、専任教員のポジション獲得が望まれます。

---

令和5年度  
子育て世代の医療職支援事業実施報告書  
令和6年3月 発行

---

編集・発行



広島大学病院  
女性医師支援センター

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3  
TEL 082-257-1576 FAX 082-257-1703  
URL: <https://hosp-diversity.hiroshima-u.ac.jp/>



---

(無断複写・転載を禁じます)

Medical Professions'  
Universal Support and  
Career Development with  
Active Teamwork



広島大学病院